

兵庫 庫 県
保 險 医 協 会

高 加
砂 古
川

支部 ニュース

No. 254

2018年10月5日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三十一

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一



医療安全管理研修会

多職種連携強化で 服薬管理の向上を

加古川高砂支部は9月22日に、「服薬管理の今日的課題」をテーマに医療安全管理研修会を開催し、医師・看護師・薬剤師・介護職員ら20人が参加した。

調剤薬局コンサルタントの(株)ネグジット総研の中野康三氏が「ヒューマンエラーの発生要因と未然防止の考え方」をテーマに講演し、メイキ薬局代表取締役で薬剤師の橘慶一郎氏が薬剤師の立場から話題提供した。また、参加者が他職種同士でグループに分かれて、各職種の立場から感じている「問題点」を出し合い、それに対する解決策や「明日からできること」について意見交流を行った。



薬剤師の立場から話題提供する橘氏

薬剤師の立場から

橘氏は、服薬管理について、医薬品の適正使用に関してプロセスの多様化などの問題点が多くなってきていること、薬を管理するのが、本人、家族だけでなく、施設などの職員が管理することもあること、認知症など管理できないケースも増えてきていること、高齢化に伴い、他科受診といった複数の医療機関から薬をもらうことも多くなっていることを指摘した。

ヒューマンエラーの発生要因と未然防止の考え方

中野氏は、「ヒューマンエラー」の定義を、「標準作業や手順が遵守されていない行為」による過ちとし、自分と他の人や組織の間にある「つながり」と、人や組織のそれぞれの能力に「ばらつき」があることでヒューマンエラーが介在



ヒューマンエラーの発生要因と未然防止策を解説する中野氏

する余地が生まれることを解説し、人に起因する過誤「バイオレーション(ルールが遵守されていない中で起こる意図した行為)」と「ヒューマンエラー(ついで、うっかり起こってしまう意図しない行為)」のどちらかのタイプなのかを分析することで解決策が変わると解説した。

人間の注意力は長くても数十分しか続かないため、他の時間帯でエラーが発生することを防ぐための多重チェックは必要だが、チェック回数を増やし続ければエラー検出が出来るわけではなく、トリプルチェック以上は効果的ではないとした。作業手順やチェック回数を増やすことは「つながり」と「ばらつき」が増えるため、「本当に増やすべき手順なのか?」「忙しい時にでも可能か?」で判断することが大切だと説明した。

ミスの発生を防ぐために、「排除(ミスしやすい作業は、作業自体を行わなくてよい仕組みにする)」、「代替化(人が行わなくてよい仕組みにする)」、「容易化(作業をやさしくしてミスしにくくする)」、「異常検出(ミスを気づきやすい仕組みにする)」、「影響緩和(ミスの影響を少なくする)」の仕組み作りが必要だとまとめた。

服薬管理のヒューマンエラーを減らしていくために、①「医師」は患者の疾患だけでなく、生活状況や他科受診、服薬状況なども考慮して指示する、②「薬剤師」は調剤、薬の説明だけでなく、多職種と協働して服薬状況を把握してフィードバックを行う、③「家族」や「服薬管理を行う職員」へは薬について理解度、意識等の教育が必要、④関係する職種とルールを作成することが重要と説明した。

参加者からは、「普段、話を聞く機会が少ない職種の方と話ができて良かった」、「多職種の方の話を聞くことが出来て視野が広がった」などの意見が寄せられた。次号で参加者からの感想を掲載予定。

グループ討議の課題

- ①院内処方、院外処方、調剤それぞれの服薬指導の工夫(誤投薬防止)、
- ②指示通り飲まない患者さんや過剰に薬剤を求める患者、
- ③医師、歯科医師の処方の際、意思疎通の在り方、
- ④障害のある方、高齢患者、認知症患者さんなど服薬困難の場合

兵庫県保険医協会加古川・高砂支部 第37回支部総会のご案内

平川 亘 先生 講演

認知症の診断・治療の新しい考え方

～ 明日から役立つ 認知症のかんたん診断と治療 ～

日 程 10月20日(土) 午後2時30分～ **参加費無料**

場 所 加古川プラザホテル **どなたでもご参加いただけます**

加古川市加古川町溝之口800 TEL:079-421-6012

◆記念講演 午後3時～5時

認知症の診断・治療の新しい考え方

～ 明日から役立つ認知症のかんたん診断と治療 ～

講演: 誠弘会池袋病院 副院長 脳神経外科部長 **平川 亘** 先生

お問い合わせは担当事務局 沖野・荒川まで TEL. 078-393-1805



診断法も治療法も画期的にシンプルです。けれども高齢者認知症患者の9割は良くすることができます。CTやMRI、難しい病理のお話は出てきません。プライマリケアで診るという前提で解説します。診断・治療法は簡単ながら、実臨床は「これで十分!」という、とても実践的な内容です。

抗認知症薬の使いこなしから、リバスチグミンを用いたレビー小体型認知症の治療、そして急性期病棟でのせん妄と意識障害の治療を動画で説明します。また、演者の1,000例を超えるプレタール(シロスタゾール)を使用した認知症とMCIの治療経験もご紹介いたします。

老いは治せませんが認知症は良くすることができます。毎日40人の認知症患者さんを長年診療してきた演者が、同じ患者さんを長

く診ることで見えてきた認知症診療のコツをお伝えします。(平川 亘 記)

平川 亘(ひらかわ わたる): 1988年鹿児島大学医学部卒業後、同大脳神経外科に勤務。1998年に埼玉県川越市の誠弘会池袋病院に赴任し、現在は副院長、脳神経外科部長。所属学会: 日本脳神経外科学会、日本認知症学会、日本脳神経外科認知症学会、日本早期認知症学会、日本意識障害学会、他。著書: 「明日から役立つ 認知症のかんたん診断と治療」

切り取らずにこのままFAXして下さい

加古川・高砂支部第37回総会 FAX **078-393-1802** までご返信下さい

◇総会議事 (午後2時30分～2時50分)

出席 欠席(議事の一切を議長に委任します)

◇記念講演 (午後3時～5時) 出席 出席人数()人 欠席

◇懇親会 (午後5時15分～7時) 出席 出席人数()人 欠席

[加古川市・高砂市・加古郡] 医療機関名 []

お名前 [] 電話 [- -]

兵庫県保険医協会 加古川高砂支部役員選挙の公示

兵庫県保険医協会役員 加古川高砂支部長 岡部 桂一郎
兵庫県保険医協会役員等選出規定により、加古川高砂支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】

支部長 1名 / 副支部長 若干名 / 幹事 若干名

【改選日時】

10月20日(土) 午後2時30分

加古川高砂支部第37回総会 / 加古川プラザホテル

【立候補日時締切】

10月13日(土) 正午

【立候補届出の方法】

支部役員は、本人の届け出により、候補者の資格を得ます。立候補・希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。

- 支部ニュースへの投稿を募集しています -

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話など
お寄せください。

電話 078-393-1805 FAX 078-393-1802

e-mail miki-o@doc-net.or.jp 担当: 沖野・荒川

